

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和5年5月17日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和5年度第1回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和5年5月17日(水) 午後1時55分～午後3時25分

場 所 西庁舎 第五会議室

出席委員 15人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 横 山 英 吏 子 委員

委 員 太 田 篤 胤 委員 長谷川 郁 子 委員 北 脇 理 恵 委員

委 員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員 萩 原 英 幸 委員

委 員 桜 井 努 委員 保 谷 匠 委員 松 本 祐 子 委員

委 員 大 澤 秀 典 委員

欠席委員 1人

委 員 妹 尾 和 子 委員

事務局職員

健康課長

伊 藤 崇

健康課主任

近 藤 仁 美

健康課主事

高 橋 雄 大

傍 聴 者 0人

(午後1時55分 開会)

○事務局 お時間少し前なんですけれども、今日、出席予定の方で1人遅れてくるという連絡があったんですけども、ほかの方はおそろいになりましたので、これから始めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○山岸会長 改めまして、本日は皆さん、お忙しいところを御出席いただき、ありがとうございます。

これより令和5年度第1回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出欠に関して、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出欠でございますが、妹尾委員から欠席の御連絡をいただいております。そのほかに北脇委員のほうが少し遅れますということですので、今現在、会長を除きまして13名となっておりますので、過半数以上の出席ということで、審議会として成立することを御報告いたします。

次に、配付資料の確認をさせていただきます。本日、机上に配付させていただきましたものとして、まず次第、名簿、令和4年度第4回食育推進会議の会議録案ですね。それから、令和4年度食育コーディネート記録、子ども食堂関係のプリント3枚、こちらは井上委員からの提出でございます。それから「小金井市民の歯と口の健康2023」、すみません。白黒のほうでつづられておりますが、服部委員のほうで、カラーのポスターをお持ちになっていただきましたので、お話のときは、そちらのほうを御覧ください。もう1枚、カラーで「朝食で1歩前へ!」、こちらは多摩府中保健所の松本委員のほうからの資料でございます。

お手元に資料のない方いらっしゃいますでしょうか。過不足等ございましたら、事務局のほうにお願いいたします。

それから、いつものことなのですが、第4次の計画閲覧用は、お帰りの際、机の上に置いたままをお願いいたします。以上です。

○山岸会長 議事に入る前に、事前に皆様のところへ送付されている前回の議事録案で、御自身の発言内容を確認していただきたいと思います。全部で31ページあるので、前回、メールでも御案内いただいたところですが、いま一度、確認をお願いいたします。訂正をされた方は、訂正どおりになっているか、確認していただきたいと思います。

それでは、この案でよろしい方は、挙手のほうをお願いいたします。

(挙 手)

○山岸会長 ありがとうございます。もし追加で何か気がついたことがありましたら、終了までに事務局のほうにお願いいたします。

では、議事進行に入る前に、今年度から食育推進委員になられた方がいらっしゃいますので、事務局から紹介をお願いいたします。

○伊藤健康課長 令和5年4月1日付で、市の人事異動がございましたので、紹介させていただきます。

新たに委員に就任いたしました小金井市福祉保健部長の大澤秀典委員でございます。

それでは部長から一言、御挨拶をお願いします。

○大澤委員 本年4月1日付で福祉保健部長に拝命を受けました大澤と申します。前職は子ども家庭部

門、子ども家庭部長を7年ほど務めておりまして、福祉部門は、すみません。初めてのケースがございます。ちょっとまだ慣れないところはございますけども、今後ともよろしく願い申し上げます。

○伊藤健康課長 ありがとうございます。

続きまして、事務局職員にも変更がございましたので、紹介させていただきます。

高橋雄大主事でございます。

○事務局 皆様、よろしくお願い致します。前任の矢島主事のほうから引き継ぎました健康課の高橋と申します。よろしくお願い致します。

○事務局 その次なのですが、東小学校の伊熊栄養教諭にかわりまして、小金井第二中学校の長谷川郁子栄養士が、学務課からの推薦で委員となりました。

では、長谷川委員、お願いいたします。

○長谷川委員 小金井第二中学校で栄養士をしております長谷川と申します。皆様に御意見を伺いながら勉強していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

○山岸会長 ありがとうございます。

では、意見・提案シートについて、事務局からお願いいたします。

○事務局 意見・提案シートの御提出は、ありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。最初に萩原委員より、3月も少しお話がありましたが、学芸大学と辻調理専門学校との合同行事で講演されたことについてです。

それでは萩原委員、よろしくお願い致します。

○萩原委員 皆さん、こんにちは、萩原です。前回ちょっとお話ししたのと大分、重複してしまう部分があると思うんですけど、私のほうで活動内容が少し増えてきたので、その辺も交えて少しお話しさせていただきます。

今、農地貸借のほう、前回もお話ししたと思うんですけども、2018年から貸借のほうは、都市農地の貸借法が改正されて、借りられるようになったんですけども、まだまだ、なかなか貸手のほうがないという状況が非常に多くてですね。実際に今、私のお隣の畑も、御病氣されてから、もう1年以上、耕作されていないので、そういうところをお借りしたり、お話もして、わくわく都民農園のほうと一緒に活動している方が、ボランティアとして非常に積極的に今、私どもの畑を手伝いに来てくれているんですけど、そういった方を交えた上での貸借農地をもっと活用できないかということで、今、新たに動き出しまして、そのボランティアさんたちを団体化して、ボランティア団体を設立して、どうかその団体さんと一緒に私ども活動できないかなということで、今また新たに動き出しました。

というのが、私どもの活動と伴って、耕作できない畑はまたどんどん増えてきているので、その辺を、農地の保全をどうしようかと今、考えて、動いていたんですけど、なかなかうまくいかないで、まず手始めに、ボランティアさんが非常に積極的なので、そちらのほうを団体化して、その貸借農地、私たちが活動していることに対して、もっと収量を上げたいなど。管理や畑づくりなんかを人数入れてやると、私が一、二日かかるのが半日で終わったりとか、非常に効率がいいなと感じてきましたので、完全に教えてない方が作業に入ると、なかなか難しいんですけど、ボランティアさんは、わくわく農園のほうで農作業のほう、私どものお話を聞いていただいた上で活動していただいているので、お話がスムーズに進んでいます。

ボランティアさんたちも、いずれは個人で貸借とかしたいという方は数名いるんですが、怖いということで、個人ではまだ難しいかなと思うので、団体として、私たちが借りた畑で動いてもらったり、貸借農地をもうちょっと増やして、例えばですけど、個人で体験型農園ですね。そういったもので、大量に同じ作物をつくりまして、そういったものをまた市のほう、給食なんかにも出荷できるような体制をちょっと整えたいなど今、考えています。

農業委員会事務局のほうとも今ちょっとお話しているんですけど、そういった形でボランティアさんとか使う上で、個人なり、もしくは農協のほうで農地を借り上げていただいて、そこをそういった体験型農園、もしくは農家に貸して、農家のほうで運営して一緒に手伝ってもらう農園なり、さらに出荷率を大幅に上げていく必要があるのではないかと考えています。

もう一つ、今、水面下で動いているのが、公園なんかにも菜園をちょっとつくろうかというのも、ちょっと話が出ています。というのは、公園に近い地域の子供たちが、学童の延長として、そういった作物の作付なり、その作物が出荷して給食に、自分のところに出たりという形が整うのであれば、食とか野菜のほうにも興味が出るのではないかというお話が……。

今、渋谷区のほうで、公園で菜園をやっているというのが、もう実行されているので、そういったものを参考にしながら、小金井市でもそういうのを取り入れていく。小金井は畑がある上で、そういったものをさらにできるのではないかとということで、今いろいろ、そういうお話も出ているので、貸借と併用して、そういった方も栽培できると、もっともっと地産地消が大幅に動くのではないということで今、お話は、少しずつですが、動いています。

今、あとボランティアさんも、商工会なども、そういった野菜の活用法なども積極的に考えていただいているので、多分、市の中で循環型として、これから動いていくのではないかなとちょっと期待はしています。

また、まちおこし協会のほうでも、新たに違う法人という形で今、団体を設立して、公園なんかも一

般の方の管理、基づいて、子供たちの教育、学童につながるような活動にしていこうということで、先週なんです、そういう話もいろいろ浮上ってきているので、野菜の地産地消を上げるのと同時に、食育活動にもまた大きく、皆さん興味を持っているんだなということで、私のほうでも今、また頭は悩んでいます。相当悩んでいますけど、こうやって動くことで、皆さんの共感を得て、さらに参加者が増えることを望んでいます。

そういった形で、野菜作りだけではなくて、全て、いろんな活用方法なり、あとは資材、材料、堆肥などをつくるほうでもそうですけど、皆さんの御協力があって、地産地消が成り立っていくことが非常にうれしく思っていますので、これから大きく、今度、辻調理なども、こちらのほうに来られるということで、関係性が非常に深くなるのではないかと期待しています。

今、学校なんかでは、うれしいことにほとんどの学校とつながりができましたので、出荷するだけじゃなくて、栽培してもらったり、その栽培の過程を自分らの目で見てもらって、うちらと、どういうふうに作り方が違うのかとか一から、そういう形で興味を持っていただくことで、自分で食べ方とか、おいしいもの、嫌いだったものもちょっと興味が出て、食べてもらえるのではないかなと、こちらもちよっと期待を膨らませながら、先生とか栄養士さんとお話をさせてもらっています。

ちなみに今日、午前中なんです、東小のほうにも伺って、寺島ナスと半白キュウリの植付けを、給食員の子たちと一緒に作付をしてきました。来週、学芸のほうにも伺わせていただきますので、そういった形で今後も、そういう作っているもの、苗なんかも提供させていただいて、作る段階でも、自分たちで作ってみて、農家とどう違うのかという楽しみも、見ていただけるといいなと思いつつと活動の幅を少しずつ増やしています。

ぜひとも、そういった交流をもっともっと深めて、もっと地元をにぎやかにしていきたいなと思っていますので、ぜひまた御協力をよろしく願いいたします。

簡単ですが、以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

今の萩原委員のお話について質問など、ある方いらっしゃるでしょうか。質問だけでなく、御意見でもあれば、どうぞ。お願いいたします。

○横山委員 積極的に農家の方が学校と関わってくださるのを一保護者としても、勤めている者としても、すごくありがたいなというふうに思っています。これからも、よろしく願いします。

○萩原委員 ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。お願いします。

○長谷川委員 今のお話、すごく興味深く伺いました。地元の野菜を使うと、やっぱり子供たち喜んで、

ナスなんか特に、苦手だなと思う子が多いんですけど、萩原さんちの野菜だねとか、これは地域でとれた野菜なんだよという、興味をすごく示してくれて、ナスでも、マーボーナスとか、ちょっと苦手意識がある子もいるが、言った途端、食べてくれるということがあるので、地域の方のお野菜を活用していきたいとともに、出荷して頂くだけでなく、栽培過程も子供たちが参加していくということが、これから進めば、すばらしいことだなと、聞いていて思いました。

○萩原委員 ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。お願いいたします。

○松嶋委員 萩原さん、ありがとうございました。このように、わくわく都民農園ができたことと、あと今、萩原さんの御活躍をさせていただいて、何より心強いと思うのは、いろんな情報が萩原さんのところに集約されていて、それをこっちにつなぎ、あっちにつなぎということで、商工会と農業と子供の活動とか、いろんなところのステーションみたいな形に萩原さんがなっただいて、それでまた、活動がどんどん広がっているということが、すごくうれしくて、ありがたいことだなと思っていて。

私も野菜の普及に長く努めていますけど、情報、どこで誰が何をつくっているかというのと、使いたい人がどこにいるのか。どこで、どのぐらい使えるのかとか、そういう情報がなかなか一元化されないことで、使いたい人と作っている方がつながらないことがよくありました。それが少しずつ広がっていく。

また、子供たちも、小金井でとれている野菜を食べて、それで野菜が好きになって、食育にもつながって、非常にいい取組をされていると思うので、もし御協力できることがとありましたら、今後ともよろしくお願いします。ありがとうございます。

○萩原委員 ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。お願いいたします。

○雀部委員 私は児童館のほうで15年ほど、離乳食講習会の講師をしているんですけども、小金井市の4館ある児童館のうちの3館を担当しております、離乳食は、保健センターでやっているタイプと違って、実際にお母さんたちが作って、それを子供たちにも食べさせ、自分たちも食べるという取り分け食でやっているんですね。で、必ず地元の野菜を使うようにしていますので、明日あるんですけども、今日、買いに行きました。

そういう形でやって、必ず講習の前に、地元の野菜を使っていますということで、小金井のいろんな種類の野菜を作っているという御紹介も必ず差し上げるようにはしているんですけども、そういうところから、興味を持っていただくのはすごく大きなことだなというふうに考えています。

何か必ず1品は、野菜がそのときによってある、ないはあるんですけども、必ず使うようにはして

いますので、どんどん盛んになっていただけると、使える野菜も増えてくるかなと思うので、ぜひ頑張っていたきたいと思います。ありがとうございます。

○萩原委員 ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。また、こちらの会のほうでも、いろんな情報がありましたら共有させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、次に移ります。それでは、次の小金井市食育コーディネータの選考についてということで、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 昨年度の第1回会議でお話ししましたが、食育コーディネータは、小金井市内の食の情報について周知・広報活動を行い、食育活動について何かお困りのことがあれば、御相談に乗るという、小金井市の食育を推進するに当たり、情報連携の中心的役割を担う目的です。食育コーディネータが導入されたとき、個人で担うより、小金井市の食育推進を長期的なスパンで運営ができる組織立ったところが、いいのではないかとこの御意見をいただき、福祉保健部長が歴任しております。

このことから、今回、前福祉保健部長の退職に伴い、後任は大澤福祉保健部長となりますが、いかがでしょうか。

ちなみに任期は、小金井市食育コーディネータ運営規則第4条で「食育コーディネータの任期は委員の任期とし」、委員というのはこの食育推進会議の委員ですね。で、「再任を妨げない。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする」とのことから、現在の任期は、食育推進会議委員の任期同様、令和6年1月31日までになります。

○山岸会長 ただいまの事務局からの説明について、御意見等ありますでしょうか。

では、ないようですので、大澤福祉保健部長、食育コーディネータとして、どうぞよろしくお願いいたします。

○大澤委員 よろしく申し上げます。

○山岸会長 続けて、昨年度の食育コーディネータの実績について、事務局よりお願いいたします。

○事務局 実績は、皆さんの資料の中にあるんですけども、資料のとおりになります。

○山岸会長 コーディネータ記録というもので、よろしいですか。

○事務局 そうですね。はい。

○山岸会長 ただいまの事務局からの説明について、御意見など、ありますでしょうか。

では、ないようでしたら、次の議題になります。

それでは、先月に引き続き、井上委員が子ども食堂を2か所訪問していただき、その報告をしていただきます。井上委員、よろしくお願いいたします。

○井上委員 また同じ子ども食堂のことで、またかという感じだと思いますけど、少しお時間いただけたらと思います。

子ども食堂は市内に7か所ありまして、そのうち子ども食堂pomme、これは中町でやっています。子ども食堂こきんダイナーというところは緑センターでやっています。それから、今度行きました「また明日」というのは貫井南にあります。

こきんダイナーとpommeは前にお話ししましたので、省略します。「みんなの居場所 また明日」、これ貫井南町なんですけど、そこに行ってきたんです。ちょっとほかと違う感じがしたので、お話ししたいと思うんです。

ここは、昼間はデイケアと保育所が使っている場所なんです。大きな犬が部屋の中にいたりしまして、おとなしく隅のほうで寝ていたりしていましたが、多分デイケアで使っているのかなというふうに思いました。

20畳以上ある広い部屋で、子供たちが元気に遊んだりしておりました。

台所とトイレとかは、その部屋についてあるんですけど、子供たちがもう一つのテーブルでお弁当をつくったり、ヒジキを混ぜたりしていました。メニューが、おでんセットとヒジキの混ぜ御飯とマカロニサラダと。御飯は2升炊いたそうです。60食分だそうです。

それで、そのできたお弁当を子供たちが取りに来て、大人は200円から300円頂くんですけど、幾らでも、頂いたお金でそのまま、お弁当を渡すということです。

ここでは対面食事はしないんですけど、持って帰ったり、その庭でとか部屋の中でテーブルを囲んで、自分たちが食べるということです。一緒に食べたりするわけです。

2枚目の「みんなの居場所 また明日」というプリントがあるんですけど、そこに「食べる」「学ぶ」「生きる」という、下のほうに丸がついていますけど、子供たちが宿題や何かを持って、そこに夕方、来て、そこで宿題を、高学年の子が低学年の子供の面倒を見たり、先生も1人いらっしやっているそうです。

それが「学ぶ」ということで、あと、庭に小さい車が止まっています、業者の車ではないんですけど、瓶に入ったものとか、イチゴとかを売っているんですね。それを子供たちが売って、袋に入れて渡したりしているんです。その収益を子ども食堂「また明日」に寄附をするということになっているそうです。そういった経験も「生きる」ということにつなげていけるのではないかと。

最後に、それが終わったら、みんなでテーブルを出して、自分たちで拭いて、そこで食事をして、帰ると。ただ、隣に大きい公園がありまして、そこを使って、子供たちが元気に遊んでいる。今は子供たちが外で元気にみんなと一緒に遊ぶという機会が、なかなかないと思うんですけど、そういう機会がた

くさんあって、みんなが楽しそうに遊んでいるのが、とても印象的でした。

ただ、問題が幾つかあると思うんですけど、あまりにもスタッフさんの負担が大きいこと、お金の問題、それから場所の問題、いろいろ問題があると思うんですけど、今日お話ししまして、皆さんの中で何か考えていただけるようなことがあったら、少し前進したことになるかなと思うんですけど、今ここで解決しようとかということではなくて、こういうことがありますよということをお話しできたことがいいというふうに思いました。

例えばあるところで、開催が近いので、買物をしなくてははいけない。今日は野菜やなんかが安く売っているの、買いに行く。少し日にちがあるので、冷蔵庫に入れたと思うけど、自分の冷蔵庫もいっぱい、入れるところがないので、自分で小さい冷蔵庫を買いましたとおっしゃっている人もいました。それは何らかの形で、いずれお金はもらったということですけど、そんなようなこともありまして、お金の問題、場所の問題、それからスタッフが高齢化しちゃっているの、少し替えていかなきゃならないんだけど、なかなか人が見つからないというような話がありました。

「また明日」は、そういうふうに子供たちが自主的に自分たちでできることをやっているというのが、ほかと違って、とてもいいことだなというふうに思いました。事故がなければいいなというふうに思ったりしました。

さっきお話ししましたように、今、問題を解決しようということではなくて、いつか、また何らかの形で解決できる時があればというふうに思いました。

あともう一つ、ここ、子ども食堂を卒業した中学生・高校生がまた集まって、新しい食堂をつくって、そこでみんなが集まって仲よくやっている。それはちょっと微妙な年なので、そういうことがとっても大切だというふうに思うという話もありまして、そこをちょっとのぞいてみたいと思ったんですけど、時間がなくて行かれなくて、あれなんですけど、また訪問しましたら、お話ししたいと思います。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。今の井上委員のお話について、質問などのある方いらっしゃいますでしょうか。

○井上委員 すみません。7件のことなんですけど、中町がパークこども食堂、東町が「なないろ子ども食堂」、本町が「みんなDEごはん」、それから浴恩館でもやっているそうです。それから「みんなの居場所」が貫井南。「まめカフェ」というところが貫井北町。子どもダイニングというのが、これは今、休止しているそうです。中町にあるんですけど。こきんダイナー、緑町。ひつじ食堂というのが東町でやっている、以上です。すみません。

○山岸会長 ありがとうございます。どうでしょうか。何か質問や御意見ありましたら、お願いします。

○松嶋委員 こちらのほうには、萩原さんはお野菜入れていらっしゃいますか。

○萩原委員 入れています。

○松嶋委員 じゃ、高橋金一さんとか地元の農家の方が、お野菜を多分、子ども食堂に入れていらっしゃるんで、先ほどの話もそうなんですけど、そういうところの連携もしてということで。

○井上委員 そうですね。

○松嶋委員 ということで。

○萩原委員 「また明日」のほうは、うちに直接取りに来たりもしています。僕がいないときも「いいよ」といっておけば、子供たちが一緒に来て、森田さんと一緒に大根抜いたりとか、コマツナ取ったりとかしていつているので、あそこは非常に楽しんでやらせているので、いいんです。

あと、もう1軒、中町のほうのあそこにも野菜は、明日またお渡ししますけども、野菜を提供させてもらっているんで。あちらもあれですよ。今、タカハシケンタロウ君が貸借した農地でブロッコリーを大量に、貫井センターの道路沿いのほうに畑があるんですけど、あそこにブロッコリーを大量に、あそこの子供たちと一緒に栽培しているんで、もし機会があったら、ちょっと見てみて……。

○井上委員 はい。

○萩原委員 すごい、一面ブロッコリーのあれが……。

○井上委員 はい。多分、なかなかそういう情報が入ってこないんじゃないかなと思うんですけど。

○松嶋委員 2,000株以上でしたっけ。

○萩原委員 2,000……。

○松嶋委員 1,000何百株？

○萩原委員 1,000何百、2,000までいかなかったかな。それぐらいは植わっているんで。

○松嶋委員 植えて、間引いたりしながら、今すぐ。ブロッコリー大作戦みたいな感じで、収穫

○井上委員 ええ。何かテレビでやってたです。

○萩原委員 それも今、貸借活動の一環で、そこも仲間がやっているんで、もし御興味あったら、ちょっとのぞいてみてください。

○井上委員 安くいただけるというんですか。

○萩原委員 多分そうだと思います。売り方はちょっと僕、まだ聞いてないんですけど。一応、管理と販売までやるという形で、話を聞いているので。そのうち、また見にいこうと思っています。

○松嶋委員 収穫するのに、たしか今。カレンダー見れば分かりますけど、収穫するときがあると思うんで、そういうときに。

○萩原委員 収穫するの、体験みたいな形で、取ってもらおうような形をとるようなことを言っていたん

です。

○松嶋委員 そうなんですネ。

○萩原委員 そこ以外に、そういう貸借活動やって……。

○松嶋委員 6月24日に何かそこに来てくれという話があって、ブロッコリーのわき芽を収穫してピザをつくって食べようという話があります。

○萩原委員 はい。

○松嶋委員 子ども食堂の活動も、いろいろ課題があると思うんですけど、助成金が出たり、いろいろなことも今後、必要になってきて。人の善意だけではできないと思っているんですけど。

○井上委員 そうですね。

○松嶋委員 そういう一つの形として、小金井の子供たちの場所であったり、食べられないとかそういうことではなくて、孤独になってしまうというようなことの人つながりということでも、少し……

○井上委員 孤食をなくす。

○松嶋委員 孤食をなくす……。

○井上委員 なくしていきたいと。

○松嶋委員 ということで。「また明日」のほうは、高齢者の方と一緒に何かしたりすることもあると思うので、高齢者の方の居場所とか、やりがいとかそういうことも、つながっているのかなと思っています。もちろん、それだけでずっと続けるのは大変だと思いますが、うまい形で、見守っていただけたいかなと思っています。

○井上委員 いくつか機会があったら、高齢者の孤食についても、ちょっと。

○松嶋委員 そうですね。

○井上委員 検討したいなと思います。

○松嶋委員 コロナの前に、誰でも食堂という形で、高齢者の方と子供と一緒に御飯をつくって食べるというのをやっているところがあったんですけど、ちょっとコロナ禍で閉めてしまって、それでちょっと立ち上がらずなんで、そういう形がまたできるといいかなと思います。

○山岸会長 よろしくお願ひします。

○横山委員 中学生や高校生が集まって、「また明日」というのをやられているというのを聞いて、すごくこの取組が自分たちの中に残って、あ、やりたいなとやっていくというのが、すごく と思つて。『グルカフェ』という本が今、結構、人気がある本なんですけど、あつて、それも子ども食堂のお話の本なんですけど、小学生ナイトとか、中学生ナイトとか、子供たちが自分で子ども食堂を運営したり、メニュー決めたりする話なんですけど、何かそれにすごく通じる部分があつて……。

○井上委員 ありますね。

○横山委員 いいなというふうに思って。何かその誰でも食堂という話を聞いて、ちょっと言い方悪いですけど、高齢者の人じゃないけど、そういうのもランチでもあると、地域で1人である方が、集まって一緒にお話しながら食べられるようになったから、そういうのもいいなというふうに思って、聞いていました。

あと、今、報告を聞いて、外から見た感じの報告なので、実際に利用者の人の声というのが、もしどこかにあるなら、聞いてみたいなというふうに思いました。

○井上委員 直接お話は聞いたんですけど、忙しいときに行って、根掘り葉掘りはいろいろ聞けない。向こうがおっしゃることを、ああ、そうですか。分かりましたというふうに。

○横山委員 簡単なアンケートじゃないけど、利用した声みたいなのが聞いてみたいなんて、やや…。

○井上委員 そうですね。機会がありましたら。

○山岸会長 ほか、委員の方で、何か御意見や御質問ありますでしょうか。

私のほうからいいですか。今、7か所、子ども食堂はあるというふうに御報告いただいたんですが、経営の回数は、月1回がやはり多いでしょうか。例えばこちらの「また明日」も、毎月第3水曜日というようなことで、多分、月に1回の……。

○井上委員 月に1回が大体多いですね。

○山岸会長 はい。そういったものも、利用される方は多分、もっとあったほうがいいのか。でも、運営側の方は、もうこれが限界というところも……。

○井上委員 そうなんです。もうスタッフが、これで限界みたいな感じですね。

○山岸会長 こういったことも何かこう、うまく……。

○井上委員 いいほうへ、ね。

○山岸会長 いいほうへいくといいですね。でも、現状についてお聞かせいただきまして、本当にありがとうございました。

すみません。ほか、よろしいでしょうか。

○牧野委員 これ、月1回ということなんですが、開催してないときは、どうなっているんですか、場所は。

○井上委員 場所ですか。場所は、緑センターみたいに公民館を借りているところもありますから。

○牧野委員 普通の公民館として使用されるものを。

○井上委員 そうですね。普通の部屋をとって、やっているという。

○牧野委員 分かりました。ありがとうございます。

○牧野委員 このスタッフさん、高齢化ということですが、実際、平均年齢というか、幾つぐらいの…

○井上委員 何歳ですかとは、ちょっと聞けなかったんですけど。私よりは半分若い方がやっていたらいいんですけど、もう長いことをずっとそのメンバーでやっているの、少し替えていきたい、いければということもあるみたいです。

○牧野委員 分かりました。ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。じゃ、次のほうに移らせていただきます。

次に、食育ホームページ委員からの報告をお願いいたします。

○雀部委員 食育ホームページ副編集長の雀部です。今、食育ホームページの一番新しいレシピとしては、タケノコの揚げ餃子を載せています。タケノコのかたい部分、下のほうの部分を使っても、おいしく食べられるレシピということで、豚ひき肉と長ネギとタケノコのみじん切りが入った揚げ餃子を、ちょっとぴりからのたれにつけていただくような形のレシピを今回、私、担当だったので、それを出しました。今年はタケノコが、気持ち早めに出ていたような気がするので、例年よりもちょっと早い感じで、タケノコのレシピを提供しています。

次回のレシピなんです、スナップエンドウを使ったレシピを予定しております、もうすぐですね。5月の下旬にアップする予定なので、よろしかったら見ていただけたらというふうに思います。

前回の、ちょうどいなくなってしまったんですけど、先回の会議の後に、今いらっしゃるJAの桜井さんに御協力をいただいて、話を進めて、議事録にもちょっと書いてありましたけれども、食育ホームページのレシピのQRコードを直売所のほうに、アクセスしやすいように掲示していただくようお願いして、ベースをつくって、それを出して、桜井さんに印刷していただいて、何か所か掲示していただくようにしました。

いろいろ詳しい説明を省き、シンプルに、QRコードをちょっと大きめ、高齢者の方もいらっしゃると思うので、ちょっと大きめに、やり方が分からなければ、スタッフさんに聞いてもらうような、あとスタッフさんが、そのQRコードを見ている方がいらっしゃったら、声をかけていただくような形にしておりますので、少しずつそういう形で、自分が興味を持ったレシピを調べて、野菜を買うという流れになればいいなというふうに思います。

コロナが少しずつ落ち着きをちょっと見せる中で、編集委員のほうも、この数年間、月1回の編集会議、ずっと続けてきているんですけども、オンライン開催が主だったんですけども、リアルに委員が顔を合わせて、会議を進めていくような形にこれからしていきたいなというふうに思っています。

新しく入った委員もいたんですけれども、全員の顔合わせ会などもできずに何年か過ごしていますので、そういうこともありまして、なかなか全員で集まって決めるということができなくて、大きく新しいことをずっとこのコロナ禍、できずにいたので、これからだなというふうになんかちょっと思っていますので、活動が盛んになればというふうには思っています。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

今の雀部委員のお話について、質問などある方いらっしゃいますでしょうか。

○松島委員 少しだけ補足させていただきます。一緒に食育ホームページ、活動させていただいて、さっきちょっと議事録を見ていたら、前回のときに、どんな野菜がいいか悩んでいて、プチヴェールかノラボウナといったところ、プチヴェールいいよねという話があって、それで、プチヴェールのレシピを作って、アップしたところで、雀部さんのタケノコの前に、プチヴェールのオープン焼きのレシピをアップしております。

そういうふうに、言っていただければ、気軽に私たちもレシピ化していきたいと思うので、今いらっしゃるなくなっちゃったんですけど、農家の方にはリクエストをぜひしていただきたいと。

J Aに行くと、QRコードが飾ってあったので、ちょっとうれしくて、自分もちょっとやってみたりしましたが、ちゃんと出ました。

今度、食育ホームページ委員会で、また懇親会もさせていただきたいと思っていて、イケベさんのほうに今ちょっとお願いしているところではありますが、リアルで開催して、お話を進めていかないと、オンライン会議だと、言いたいことがあっても、うっと我慢しているうちに、1時間たちましたので、終わりですという感じで、ちょっともやっとした思いが残っていたんですけど、会議が終わった後でも、保健センターに今、私たち来ているんですけど、でも、こうだよ、ああだよという雑談の中からもアイデアが生まれたりしているので、やっぱりリアル開催は大切だなと思っています。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

どうでしょうか、ほか、よろしいでしょうか。

では、これからのますますの御発展をというか、取組をお願いいたします。

次は、服部委員よりイベントのお知らせがありますので、お願いします。

○服部委員 お手元にこれが行っていると思いますので、ちょっと見てください。

6月18日の日曜日に、毎年この辺りの日程で、「歯と口の健康」というのをやってきました。去年まで、こちらの保健センターで開催していましたが、今年は駅前の宮地楽器ホールで行いますの

で、非常に足の便がよくなったと思います。

どのような内容のことをやるかといいますと、その下の「イベント内容」というところ、口腔がんの検診であったり、悩み相談、そしゃく力検査、もろもろありますが、この中で、口腔がん検診だけは、あらかじめ予約をとっていただかないといけないと。そのほかにつきましては、当日ふらっと来ていただいて結構ですし、その四角の上に「来場者に歯ブラシ進呈」とか「イベントに豪華記念品あり（ガチャガチャ・風船も）」とか、お子さんが結構こういうのを喜びますね。そのほか、未就学児のぬりえ絵画展覧会というの、これはあらかじめ台紙がありますから、それに、学校に行く前の小さなお子さんに色を塗っていただいて、それを出していただいて、コンクールにかけると。そのほか、小中学生のポスター、川柳等、もろもろ応募作品を出していただくと、参加賞をもらえたり、優秀作品には、これ投票ということになっていますが、豪華記念品を贈呈とあります。豪華記念品贈呈という文言が2か所に出てきますので、豪華というのは主観の問題がありますが、個人的に担当の役員に聞いた話では、決してがっかりするようなものではないと思いますので、奮って御参加ください。

その他、分からないことがありましたら、下から2行目、東京都小金井歯科医師会、我々の歯科医師会の事務所、電話番号が入っていますから、こちらに昼間9時ぐらいからお昼12時と、1時から5時ぐらいまでかな、問合せをしていただければ、担当の事務職員がお答えします。非常にアクセスもよくなりましたので、ぜひおいでください。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

今の服部委員のお話について、質問などある方いらっしゃいますでしょうか。

○太田委員 口腔がん検診って、聞いたことも、もちろん受けたこともないんですが。

○服部委員 去年だったかな、おとしだったかな。有名な女性の歌手の方が、しばらく口内炎だということで治療を受けていたんだけど、よくならないということで、大分たっちやっみたいですけども、結果としては、口腔内にできる粘膜がんだったんですね。随分、大変な治療を受けられて、舌の半切だったかな。要するに相当大変な手術を受けられたというのは、ワイドショーなんかで連日、出ていましたけども、日本人にはそんなに多くなくて、古いデータで申し訳ないですけど、学生時代には、なぜかインド人に多いんだというふうに聞いたことありました、講義で。どうしてか分からないけど、彼らはカレー食べていて、刺激性のものをとっているからというような笑い話みたいな落ちしかなかったんですけど、全くないわけじゃなくて、口内炎かな、何だろうなと思っていたら、実は粘膜にできた口腔がんだったというのは結構あります。

この検診につきましては、一般の開業している我々でなくて、それ用のスキルを持った、いわゆる口

腔外科、そういったところとの協力みたいなものもありますので、そんなに大変な検査ではないですから、ちょっと心配だなとか、何かありましたら、ぜひ、お問合せの上、予約をとっていただければと思います。

改めて大きい病院に行って、例えば日赤だとか府中病院だとか、大きいところで受診をするというのもちょっとと思われるような方も、心配だったら、ぜひ御利用いただければと思います。

○太田委員 自覚症状としては、口内炎みたいな感じなんですか。

○服部委員 そうですね、何か俗っぽい言い方になるんですけども、表情が変だというような言い方をする口腔外科の専門家がいます。何か変だよねという。その何かというのは、経験から来るんでしょうけれども。普通の口内炎だったら、1週間もすれば大体、ほっといても、薬塗ったりしなくても治りますけれども、何かしつこく続くなというような場合には、ちょっと調べてみてもらったほうがいいかもしれませんということです。

口の中って、意外と、がんってできまして、あごの骨の中にできることもありますし、がんの共通原則、早いうちに見つかった人は、早いうちに適切な治療を受けて、治る確率も高いというのは原則、間違いありませんので、何かしら心配のことがある方は、どうぞ御利用くださいということですね。

もう随分、前からやっていますよね。口腔がん検診ね。こちらのセンターで「歯と口の健康」をやっている時代でも、もう既にやっていたから。ほかの例えば大腸がんとか胃がんとか肺がんとか、市の検診でも、いろいろな項目ありますけれども、がんというのは、それだけじゃありませんので。それもそうですけども、口の中というのは直接、見られますから。胃の中を見ようと思ったら、何か突っ込まなくちゃいけませんけども。必要であれば、検査を受けていただくということですね。

○太田委員 ありがとうございます。

○事務局 今の口腔がん検診のお申込みは、この6月18日の場合は、こちら健康課のほうにお申込みいただければ大丈夫です。お電話でも受付をしておりますし、もし、お急ぎでしたら、帰りに健康課の窓口でも受け付けいたしますので、小金井市在住の方はどうぞよろしく願いいたします。

○太田委員 ちなみに代金というのは、

○事務局 代金はかかりません。無料です。

○服部委員 ここに無料と書いてある。

○太田委員 検診も無料？

○服部委員 無料なんです。

○太田委員 すごいことですね。

○服部委員 大盤振る舞いです。

○山岸会長 ありがとうございます。

○太田委員 検診って、どんなことやるんですか。

○服部委員 細胞診までやっていたか。あんまり痛いとか、そういうことはないですから。

○太田委員 長時間かかるとか？

○服部委員 いや、そんなにかからないです。これは地下1階、市民ギャラリーと書いてありますから、ほかでポスターが貼ってあったりとか、それとは別のスペースで、やりますから。

○事務局 1階が展示スペースになっておりまして、今の検診は地下1階のほうになります。

○山岸会長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

それでは、以上で議題は終了となります。次は、その他になります。委員の皆様から、もし何かありましたら、お願いいたします。

では、松本委員のほうから、よろしくお願いたします。

○松本委員 多摩府中保健所の松本です。本日、こちらの水色のチラシ、「朝食で1歩前へ！」をお配りしました。

こちら、多摩府中保健所主催の栄養・食生活ネットワーク会議において、昨年度1年間かけて、制作した動画をご紹介します。この会議は、おととしまで、こちらの食育推進会議の会長をされていた学芸大の南先生を議長に、管内の6市の健康課の栄養士さん、そのほか管内の大学から保健室の養護教諭の先生ですとか、大学学生食堂の受託事業者の方や地域活動の栄養士さん等を委員としまして、管内の住民の食生活改善を目的として開いております。昨年度は大学生や専門学校生向けの食育の取組を行いました。高校を卒業したぐらいの若者への食育は、アプローチの仕方が難しいため、会議参加の各委員が共通で課題を感じていたところです。保育園・幼稚園や小中学生など、子供相手の食育は、体験型だったり給食を通してだったり、食育が比較的やりやすいんです。また高齢者も、食が細くなったり、食べる機能が落ちてきてということで、フレイル予防対策などアプローチしやすいところではあります。今回、関係機関で協力をして、皆がアプローチしにくいと感じている若年層向けに何かできないかということで、食生活改善を目的とした動画を作成いたしました。

こちらの右下のQRコードから御視聴いただけます。大体5分ぐらいの内容になっています。食に関わっている皆さんからしたら、こんなに簡単な内容でいいのかと思われるような内容になっているかもしれないですが、まず、食べる習慣がない生活を送っていらっしゃる学生さんも非常に多いことから、食べる習慣がない人が、食べる習慣をつけるために、まず一口食べるところから始めよう。また、コンビニ等で買うときには、どういったことに気をつけると、少しバランスがよくなるよとかそういった、最初の一步となるような内容になっていますので、御視聴いただければと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。

何か今の御提案で御質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

ではまた、こちらのQRコードから、動画を見ることができるということですね。

○松本委員 多摩府中保健所管内に15ぐらい、大学があり、そちらの健康管理部門のほうにも情報提供しております。

○山岸会長 ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

では、次回について、事務局のほうから、お願いできますでしょうか。

○事務局 次回につきましては、8月後半ぐらいの水曜日の同じ時間を一応、予定しております。また今回の会議録案ができましたら、前回同様、メールにてお送りいたしますので、お忙しいと思いますが、御確認等、どうぞよろしくお願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回小金井市食育推進会議を終了いたします。

皆様、本日はお疲れさまでした。ありがとうございました。

— 了 —